

待望の新規路線

合併当時から要望され続けてきた北部（本川根）路線。いよいよ、4月1日から運行を開始する。本年度1年間は、車両1台で試験運行を実施。利用状況や課題点を洗い出す。平成22年度からの本格運行につなげていく方針だ。住民の期待を背負って誕生した北部路線。その概要を紹介する。



4月1日から運行開始する北部路線車両。9人乗りのワゴン型バスだ。地域住民の生活を支える「足」として、巡回型とデマンド型の両方をこなす。

北部の生活を支える足

町営バス北部（本川根）路線の運行は、合併当時から地元住民の願いだった。バス路線対策委員会と地域公共交通会議の2つの場で協議を重ね、地域の実情を踏まえた運行形態やルートの検討がなされてきた。合併前から運行している南部（中川根）路線と併せ、バス路線網は町全域へと広がった。

これにより北部中心部の商店街の活性化や、遠隔地の生活の足が確保されるなど、大きな効果が期待されている。大井川鐵道の利用も容易になり、交通の便は飛躍的に向上する見通しだ。

2つのシステムを併用

いよいよ運行開始を迎える北部路線。2つの方式を併用して運行する。一つは、大井川鐵道千頭駅を発着点として市街地を巡回する「巡回型路線」。もう一つは、大沢、八木、平栗など、市街地から離れた地区と市街地を直接結ぶ「デマンド型交通」。この2つの異なるシステムを、1台のワゴン型バスで運行する。

本年度1年間は試験運行。実際にバスを走らせていく中で、利用状況や課題点などを探っていく方針だ。

新たな試みデマンド型

「デマンド」という聞き慣れない名前。「要求に応じて」という意味の言葉だ。文字通り、利用者の要求に応じて、バスを走らせることができるシステムといえる。

例えば、大沢地区の人が、2日後に千頭の診療所へ行きたいとする。利用者は電話で、「〇日の時の便に乗りたいから、どこか場所まで来てほしい」と予約する。すると当日、バスが利用者の自宅などへ迎えに来てくれる。乗った後は、巡回ルート中の指定したバス停で降りる。診療所へ行くのならその近くのバス停で。電車に乗るのなら千頭駅前を指定しておけばいい。

試験運行の本年度は、曜日によって出向く地区が限定されている。今後課題を検討し、来年度、より効率の良いデマンド型への移行を目指す。

デマンド型採用の理由

市街地を、ダイヤ通りに巡

北部路線の運行に期待しています
笹木寿子さん（上岸）



わたしが住む上陸地区から千頭周辺まで歩いて通うには、とても時間がかかります。病院に通うお年寄りも一苦労。雨の日なんかは本当に大変です。わたしが気が付いた時は、その人を車に乗せてあげることができませんが、帰りはどうしても歩きになってしまいます。いつも辛いなあと思っていました。本川根地区にバスが運行されれば、病院などへ通うのがとても楽になります。みんなが利用しやすいバス路線を期待しています。

回する巡回型路線。都市部では一般的だ。しかし本町のよう中山間地では、巡回型をスムーズに運行するのは困難。一回りするのに、時間ばかりかかってしまう。しかしデマンド型なら、効率的な運行によって、多くの地区にバスを走らせることができる。交通の空白地帯解消につながるため、本町に適したシステムといえるだろう。デマンド型には、経費の面

でも大きなメリットがある。巡回型の場合、乗客がいなくてもバスを走らせる必要がある。次のバス停に、待っている人がいるかもしれないからだ。しかしデマンド型なら、予約のない日は、運行する必要がない。燃料費や人件費など、無駄を省くことができる。北部地区の公共交通は、デマンド型を併用することにより、最小の経費で最大の効果を上げられる公算が大きい。

デマンド型交通の運賃

運行先	通常運賃	回数券（11枚）
①大沢・八木	300円	3,000円
②池ノ谷閑蔵・桑野山	300円	3,000円
③平栗	300円	3,000円
④坂京	300円	3,000円
⑤柳三・富沢・下沢間	300円	3,000円
⑥洗富小幡	洗富400円 小幡580円	洗富4,000円 小幡5,800円

【巡回型路線とは】

巡回型は、一般的な路線バスと同じ方式。それぞれの停留所を、決まった時刻にバスが巡回する。「千頭巡回・小長井巡回・田代上陸巡回」の3本のルートを設定。どのルートも大井川鐵道千頭駅を発着点として、地域振興センター（総合支所）、文化会館、福祉センターなど、公共性の高い施設間などをつなぐ。運賃は南部路線と同様。▶大人200円、▶75歳以上・中高生100円、▶幼児・児童・障害者50円。

●▶千頭巡回ルート・行き（帰りはこの逆順）

巡回 千頭駅→地域振興センター→本川根診療所→治山センター下→豊川稲荷千頭別院→寺野区会館→J A 大井川本川根支店→千頭駅

●▶小長井巡回ルート・行き（帰りはこの逆順）

巡回 千頭駅→地域振興センター→本川根診療所→新聞堂前→文化会館→いやしの里診療所→創造と生きがいの湯→千頭駅

●▶田代・上陸巡回ルート・行き（帰りはこの逆順）

巡回 千頭駅→本川根小学校→田代→福祉センター→上陸集会所→B & G 海洋センター→いやしの里診療所→文化会館→本川根診療所→地域振興センター→千頭駅

【デマンド型交通とは】

本町の場合、市街地から離れた地区と、市街地とを直接結ぶ方式。巡回型路線に適さない中山間地などで威力を発揮する。現在、全国約50の市町村で導入されている。利用者が電話予約すると、利用する日に、指定の場所（自宅など）までバスが出向き、利用者に乗せて希望のバス停まで送迎する。（地区により、運行する曜日や時間が決まっているため注意が必要）

○利用方法

利用者は、バスを利用する前日までに電話で予約する。予約時に、氏名・利用日・乗降場所などを伝える。

※利用者登録などは必要ない。町民であれば誰でも利用できる。

○予約先

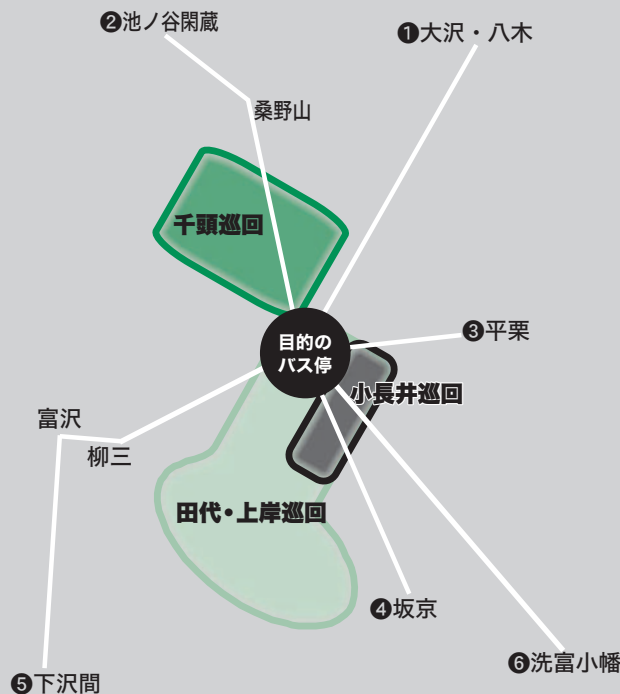
大鉄タクシー千頭営業所 ☎ (59) 2355

○運賃の支払い方法

巡回型路線と同様、バスの運賃箱に運賃を入れる。

○対象地区

デマンド型交通の対象地区は、一部スクールバス運行地区での「混乗」を前提としている。このため、スクールバス運行日と運休日では、ダイヤが一部変更となる。詳細は3月中に配布したチラシに記載されている（企画課《旧企画環境課》から配布）。



●デマンド型交通の運行イメージ